

地域社会に密着した多彩な活動も展開しています。

大成ロテックは、環境配慮型の技術・工法の開発などを通じて、広く社会に貢献しています。それと同時に、全国の各支社・営業所単位で、地域行事への積極的な参加はもちろん、地域の特性を考慮した自主的な活動も展開。地域に溶け込み、地域の人々との相互理解と交流を深めています。

「北見さくら並木を作ろう会」の活動をサポート

北海道支社は、北見市民有志が結成した「北見さくら並木を作ろう会」が行う植樹に参加。同時にスタッフジャンパー50着を寄贈し、同会から感謝状が授与されました。



毎年8月の「道路ふれあい月間」に道路清掃を実施

中国支社では、毎年、道の日(8月10日)を中心とした「道路ふれあい月間」に各営業所の周辺の道路清掃を実施。地域の美化に貢献しています。



広島市中区平和大通りに面した側道付近の清掃を実施



山口営業所に面した県道21号線の草抜きを中心に実施

絶滅危惧種「琉球ショウビン」を無事保護

2010年7月、沖縄営業所の社員が事務所前で、傷ついた琉球ショウビンを発見。すぐに最寄りの野生病院で治療を受けさせることができました。



沖縄「てだこハリー大会」に毎年参加



ハリーとは、海の恵みに感謝し、安全と豊漁を願う漁師さんたちの伝統行事。爬龍(はりゅう)船と呼ばれる手漕ぎのボートで競い合う勇壮な競技が行われます。九州支社・沖縄営業所では、毎年このイベントに参加し、地域の方々との交流を深めています。

技術研究所

環境技術をメインテーマに、時代の最先端ニーズに対応した開発・研究を推進しています。

大成ロテック技術研究所は、昭和39年の開設以来、道路舗装の材料、工法の開発研究、基礎技術、応用技術の研究を行っています。平成3年に、現在の埼玉県鴻巣市に移転しました。

研究テーマは、常にその時々々の社会のニーズに目を向けて決められています。



技術研究所(外観)

社会や時代が必要としている技術テーマを設定

アスファルトやコンクリートなど、舗装に用いる材料や施工方法・施工管理手法に関連した開発研究をはじめ、自然と生活環境の改善など、社会と時代のニーズの変化にも対応した活動を展開しています。

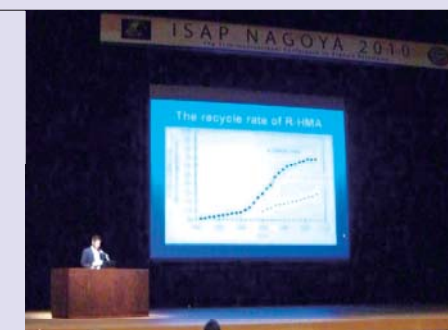
近年、温暖化やヒートアイランド現象など、私たちの生活の中で環境問題が大きな問題となる中で、研究所においても環境に配慮した開発に重点を置いています。具体的には、中温化アスファルト混合物によるCO₂発生量の削減、保水性舗装、遮熱性舗装などによるヒートアイランド対策としての環境対策技術をはじめ、寒冷地における路面凍結の防止、天然土を利用した土系舗装など、安全性、自然および地域性に密着した研究を続けています。



実験通路

国際アスファルト舗装会議(ISAP)

2010年8月に名古屋市においてアジア初となる国際アスファルト舗装会議(ISAP)が開催されました。この国際会議は、4年に1度舗装技術に関する技術発表会などが行われる会議です。今回は「環境と安全」をメインテーマとし、大成ロテックもこの会議にて技術論文の発表を行いました。



口頭発表風景

(口頭発表)

- ・日本における劣化アスファルトおよび改質アスファルト混合物のリサイクル
- ・10年間の追跡調査によるトンネル内のコンクリート舗装補修用明色エポキシアスファルト混合物の適用性評価
- ・ポーラスアスファルト混合物のリサイクルに関する研究
- ・高たわみ性アスファルトを用いたSMA混合物の性能について
- ・アスファルト遮水壁の耐震補強に対する高変形性改質アスファルトの有効性

(ポスターセッション)

- ・積雪寒冷地における排水性舗装の機能の持続性向上策の一検討
- ・重交通道路や積雪寒冷地道路に適用可能な高強度常温アスファルト混合物



ポスターセッション